

平成27年度花巻市地域包括支援センター運営協議会議録

- 1 開催日時 平成28年3月17日(木) 午後2時45分～午後3時35分
- 2 開催場所 花巻市南万丁目970番地5 花巻市保健センター 2階 集団指導室
- 3 会議日程 別紙次第のとおり
- 4 協議事項
 - (1) 平成27年度地域包括支援センターの事業実施状況について
 - (2) 平成28年度地域包括支援センターの運営方針及び事業計画について
- 5 出席者等
 - (1) 出席した委員
後藤啓之委員、小早川隆文委員、熊谷雅順委員、高橋岳志委員、高橋修委員、菊池共子委員、狩野隆史委員、橋本純子委員、鎌田政子委員、伊藤成子委員、藤本莞爾委員、高橋照幸委員、影山一男委員
 - (2) 欠席した委員
佐藤寧委員、朝倉千里委員
 - (3) 市側出席者
長寿福祉課長平賀公子、長寿福祉課課長補佐菊池司、同課介護保険係長松田隆、同課高齢福祉係長坊澤尚行、同課主査伊藤佐代、同課主査高橋朱里
 - (4) 地域包括支援センター出席者
大原範子花巻中央地域包括支援センター所長
 - (5) 傍聴者
なし
 - (6) 報道関係
岩手日日新聞社花巻支社1名
- 6 会議内容は、次のとおりである。
 - (1) 開 会
(菊池課長補佐)
この度の委員就任依頼に際してはご承認を賜り感謝申し上げます。委嘱状についてはあらかじめ席上にお配りしたことをご容赦いただきたい。
 - (2) あいさつ
(平賀課長)
本日は年度末のお忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。
平成27年度においては、介護保険法が変わり新しい取り組みとして花巻市でも総合事業等を見越して事業を展開しているところである。新しい総合事業においては、地域の団体などにも協力いただきながら事業を展開していきたいと考えている。
包括支援センターについては、市と一緒にこれまで事業を展開しているが、平成27年度においては、認知症セミナーなどに取り組んできた。27年度の目玉としては、医療介護連携の事業として初めて講演会を開いたり、多職種連携の人たちが集まり話し合いをするという会を最近開いたところである。

第6期介護保険事業計画以降については、地域包括ケアシステムを充実させていく中で中心となって活動する機関として包括支援センターを位置づけているところである。

本日は、平成27年度のこれまで行ってきた事業についてご報告申し上げ、28年度の運営方針と事業計画についてご意見を賜りたい。

(3) 会長及び会長職務代理者選出

(菊池課長補佐)

本日の会議については、委員15名中、半数以上の13名の出席で、花巻市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第5条第2項に照らし合わせ会議が成立していることを報告する。

会長の選出については、要綱第4条第1項の規定により互選となっている。また、会長職務代理者については、会長の指名となっている。会長選出までの間、長寿福祉課長が議長を務めさせていただく。

(平賀課長)

会長の選出について、どのように取り計らえばよいか。

(狩野委員)

今までの方に引き続きお願いできれば良いのではないかと。

(菊池課長補佐)

前回までは、会長が影山委員、会長職務代理者が狩野委員である。

(平賀課長)

それでは、影山委員が会長でよろしいか。(異議なし)

(影山会長)

会長職務代理者には、狩野委員を指名する。

(4) 会長あいさつ

(影山会長)

前期に引き続き今期もよろしくお願ひしたい。

(5) 協 議

(菊池課長補佐)

会議の議長については花巻市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第4条第2項の規定により、会長が務めることとなっている。

①平成27年度地域包括支援センターの事業実施状況について（平賀課長が説明）

質疑応答

(影山会長)

平成27年度の実施状況についての報告に関して質問等あればお願ひしたい。

(小早川委員)

地域ケア会議について進捗状況はどのようになっているのか。包括支援センターがリードして地域ケア会議をどう構築するかといった内容だったが、今年度はどのような状況か。

(坊澤係長)

今年度の地域ケア会議については、案件が8件で延べ10回の開催に留まり、地域ごとの課題抽出というところまで至っていない状況である。地域ケア会議の取り組み方について、2月に仙台市の包括支援センター所長を講師に迎え、包括支援センターの職員研修を行ったところであり、今後の地域ケア会議に活かしていきたいと考えている。

(小早川委員)

今年度、実施した地域ケア会議の内容をまとめた資料の提供をお願いしたい。

(坊澤係長)

後日、送付させていただく。

(後藤委員)

奥州市の地域ケア会議は、3層構造となっており、第1層で個別の会議、第2層で区ごとによる会議、第3層でセンターでの会議によって共通課題を確認し政策に反映させるしくみで取り組んでいくこととしている。

花巻市の場合は、包括センター単位で個別地域ケア会議を開いているということだが、5つのセンターで出た課題をどのような仕組みで市全体の共通課題として捉え、政策に反映させていくのか。

また、花巻西地域包括支援センターで1人当たりの介護予防プランの件数が多いということであったが、来年度の職員配置も今のところ変わらないようだが、体制は変えられないものか。

(坊澤係長)

当市の地域ケア会議は、2層構造により、第1層の包括支援センター単位での個別ケア会議で地域課題の抽出し、第2層の市全体での会議で共通課題の解決策を検討し、政策に反映していきたいと考えている。

介護予防プランに係る職員配置については、事業所によるところであり検討していただきたいと考えている。

(高橋(照)委員)

事業所の立場で話をさせていただくが、介護予防プランの件数が多くなってきていることは承知しており、社会福祉協議会の来年度の事業計画・予算の中でこの部分をカバーする内容で計画しているところである。

(影山会長)

先ほど、課長の話でケアマネージャーに対する研修会が役に立ったという話があった。市役所は介護保険だけではなく様々な知的な蓄積が研修会等を通じてなされていると思う。そのようなものをホームページ等で広くオープンにしていき情報提供をしていただきたい。

② 平成28年度地域包括支援センターの運営方針及び事業計画について（平賀課長が説明）

質疑応答

(影山会長)

運営方針及び事業計画について質問等あればお願いします。

(橋本委員)

一人世帯の高齢者などは地域の方や民生委員のお世話になっているが、元気な高齢者でも何かあった時にどこに相談すれば良いか不安を持っている人もいると思うので、地域包括支援センターの役割をもっと広報などで周知することが必要ではないか。

(坊澤係長)

地域包括支援センターの周知に努めているところであるが、多くの方にご理解いただくようさらに取り組んでいきたい。

(6) 閉 会